

DESCENTE



株主の皆様へ

第56期 中間株主通信

2012年4月1日～2012年9月30日



株式会社 **デサント**

証券コード:8114

デサントグループのプロフィール／目次

Profile and Contents

デサントグループは、『デサント』をはじめ17のブランドを展開し、高品質と高機能を追求したスポーツ用品(ウェアやシューズ)を企画・製造・販売しています。一般の方からトップアスリートまで、世界中の人々にスポーツを楽しんでいただけるよう、各ブランドで独自のマーケティングを実施し、ブランド価値のさらなる向上に挑戦中です。

企業理念

すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを

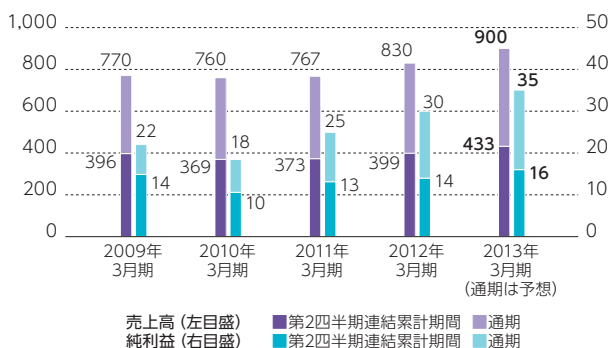
スポーツ本来の「体を動かす楽しさ」、「競い合う楽しさ」を提供することで 一人一人のいきいきとしたライフスタイルの創造に貢献します。

企業スローガン

Design for Sports

売上高／四半期(当期)純利益

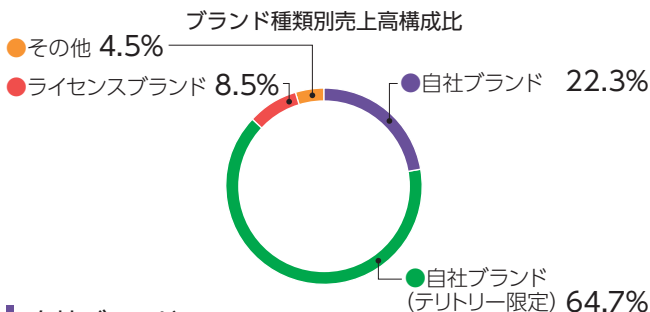
(連結ベース 単位:億円)



目次

■ デサントグループのプロフィール	1	■ 特集	8
■ 社長インタビュー	2	■ ブランド紹介	10
■ トピックス	6	■ 財務情報	12

ブランド一覧



自社ブランド

『デサント』をはじめとする、オリジナルブランドです。



自社ブランド (テリトリー限定)

デサントが商標権を有するブランドです。



ライセンスブランド

デサントがライセンス契約にもとづき展開しているブランドです。



社長インタビュー

Interview with President



代表取締役社長 **中西 悦朗**

「Compass 2010」最終年度の事業目標の完遂を目指し、新規ブランド投入をはじめとしたシューズ事業およびランニング事業の強化を推進。

2013年3月期第2四半期の連結業績は、アジア市場でアスレチック事業が好調に推移したことなどにより、売上高43,320百万円(前年同期比8.5%増)、経常利益2,554百万円(同12.6%増)、四半期純利益1,601百万円(同9.8%増)の増収増益となりました。中期経営計画「Compass 2010」の事業数値目標では、当期純利益と売上高経常利益率について2012年3月期に1年前倒しで達成していますが、計画の完遂を目指した施策の実行に一層、注力していきます。

当第2四半期の概況をご説明ください。

ロンドンオリンピックの開催をはじめ、スポーツへの関心がより高まったことを受けて国内では『アリーナ』が堅調に、『アンブロ』が好調に推移しました。ゴルフでは『マンシングウェア』着用の宮里美香プロがアメリカツアーで初優勝、『ルコックスポルティフ』着用の武藤俊憲プロも国内ツアーで優勝するなど契約プロの活躍が続き、各選手を通じたブランドイメージの向上を図りました。海外では、韓国でライフスタイル系のシューズなどが伸びて『デサント』が引き続き好調でしたが、中国では市況の急激な減速により、『マンシングウェア』などのゴルフ事業を中心に苦戦を強いられました。

ロンドンオリンピックに、どのように関わりましたか？

日本代表選手団に『デサント』のTシャツ・ハーフパンツを提供しました。各競技では、競泳選手に『アリーナ』の競泳用水着「アクアフォース インフィニティー」を提供、また『デサント』でビーチバレー・カヌーの競技ウェアや馬術競技のトレーニングウェアも提供し、ブランドの認知度と信頼感を高めました。中でも特殊な技術を活用し、当社グループの国内工場生産した日本代表選手団のTシャツ・ハーフパンツ、「アクアフォース インフィニティー」は、「自分が作ったウェアをトップアスリートが着用した」ということで現場の従業員たちにとっても、大きなモチベーションアップにつながっています。

中期経営計画「Compass 2010」の進捗と通期の見通しを教えてください。

最終年度を迎えた「Compass 2010」の完遂を目指す主な施策として、以下を推進します。

(1)『デサント』ブランドのさらなるグローバル化を目指し、2013年春夏より北米においてサイクリングウェア事業を展開します。すでに、2012年9月にラスベガスで開かれた展示会「インターバイクショー」に出展し、好感触を得ています。

(2) シューズ事業の拡大策として、オフロードランニングシューズを中心とする英スポーツブランド『イノヴェイト』の販売を、2013年春夏より日本・韓国・香港・マカオで開始します。「Natural Running=裸足で走る」をコンセプトに、つま先とかかとの間に4段階(各段階で3mmの差)の高低差「ショックゾーン」を設け、走り方に応じて商品を選択できる展開が特長のブランドです。また、日韓共同でのシューズ開発にも継続して取り組んでいきます。

(3) 依然として伸びているランニング市場に対して、コンプレッションウェア『スキズ』の販売を、8月より韓国でスタートしました。また、『デサント』からランニングギア「ジェノーム」の販売を10月に開始しました。走行時のランナーのキック力を再利用するエナジーリターン機能や安定性を高める膝サポート機能など、速く美しく走ることを追究した商品です。

(4) 流通面では『マーモット』で「Marmot キャナルシティ博多店」を11月に新規オープンするなど、各ブランドの店舗展開を拡大していきます。

以上を踏まえた通期の連結業績の予想は、売上高90,000百万円、経常利益5,300百万円、当期純利益3,500百万円となり、「Compass 2010」の最終年度における事業数値目標を達成する見込みです。

株主の皆様へメッセージをお願いします。

当第2四半期は、オリンピックという大きなイベントも活用しブランドイメージ向上に努めました。また、シューズ事業の強化など、ランニング・アウトドアといった成長市場を中心に、さらに事業拡大を図る体制を確立しました。自社ブランドの『デサント』についても、グローバル展開の強化に向けて、一層の拡販と、さらなる新規分野への進出を、引き続きスピーディーに推し進めていきます。株主の皆様の、これまで以上のご支援とご鞭撻を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

2012年11月
代表取締役社長 中西 悦朗

中期経営計画「Compass 2010」

2011年3月期～2013年3月期

事業数値目標

最終年度である、当期（2013年3月期）の連結業績予想と中期経営計画を比較しました。事業数値目標はすべて達成する見込です。

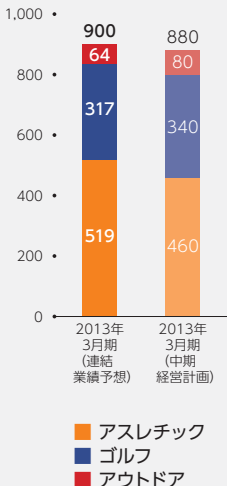
	2013年3月期	
	連結業績予想	中期経営計画
売上高（億円）	900	880
経常利益（億円）	53	50
当期純利益（億円）	35	30
売上高経常利益率	5.9%	5.7%
ROA	7.5%	7.5%

3つの重点事業領域

3つの重点事業領域における売上高の比較と主な成果を示します。

売上高の比較

（単位：億円）



各事業領域における主な成果

アスレチック

- 韓国を中心としたアジアでの『デサント』の拡大
- 『スキンス』のアジア6地域（日本・中国・韓国・台湾・香港・マカオ）における商標権を取得
- ランニング事業への取り組みとして、本格的なシューズの自社開発を開始するとともに、『イノヴェイト』ブランドの導入を決定
- 北米でのサイクリングビジネスをスタート

ゴルフ

- 『カルバン・クライン ゴルフ』を導入
- ブランドポートフォリオの見直し：『ランバン スポール』へのシフトを加速
- 東南アジアでの事業深耕

アウトドア

- 『デサント』のアウトドアカテゴリーを日本・アジア・ヨーロッパ各国で展開
- 『マーモット』の拡大

トピックス

Topics

ロンドンオリンピック競泳で契約選手がメダルを獲得



北島 康介選手
(所属:日本コカ・コーラ)



入江 陵介選手
(所属:イトマン東進)

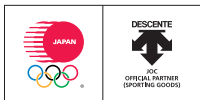


立石 諒選手
(所属:NECグリーンスウィミング
クラブ玉川)

当社がアドバイザー契約を結んでいる3選手(表を参照)が、ロンドンオリンピックの競泳で相次いでメダルを獲得しました。

手に汗を握る展開となったメドレーリレーには、入江選手が第1泳者、北島選手が第2泳者として出場。同種目で史上初となる銀メダル獲得の快挙を成し遂げました。入江選手は200m背泳ぎでも、激しいデッドヒートを繰り広げて銀メダルを獲得。100m背泳ぎの銅メダルと合わせて3つのメダルに輝きました。初のオリンピック出場となった立石選手も200m平泳ぎでは北島選手をかわして、見事、銅メダルを獲得しました。

当社では、この3選手を含む競泳の日本代表選手団向けに、『アリーナ』ブランドで新開発した競泳用水着「アクアフォース インフィニティー」をサプライしました。同商品は、数量限定の日本代表サプライモデルも含めて販売も好調に推移しました。今後も3選手の活躍を通じブランド価値の一層の向上を図ります。



北島 康介(きたじま こうすけ)選手／所属:日本コカ・コーラ

●男子4×100mメドレーリレー： **銀メダル**

入江 陵介(いりえ りょうすけ)選手／所属:イトマン東進

●男子100m背泳ぎ： **銅メダル**

●男子200m背泳ぎ： **銀メダル**

●男子4×100mメドレーリレー： **銀メダル**

立石 諒(たていし りょう)選手／所属:NECグリーンスウィミングクラブ玉川

●男子200m平泳ぎ： **銅メダル**

東京2020オリンピック・パラリンピック招致オフィシャルパートナーとして協賛



当社は2012年5月より、特定非営利活動法人東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会のオフィシャルパートナーとして協賛しています。オリンピック・パラリンピックはトップアスリートの技能を間近で体感したり、様々な国・地域の人々と交流を図る機会であり、次代を担う若者や子供たちの大きな力になります。

2013年9月に国際オリンピック委員会の総会で開催都市が決定するまでの間、「TOKYO 2020 オフィシャルパートナー」などの呼称権や招致ロゴ・招致ビジュアルの使用権を活用し、招致活動をサポートしていきます。

コンプレッションウェアブランド『スキンス』を韓国で販売開始

2012年4月に、アジア6地域(日本・中国・韓国・台湾・香港・マカオ)における商標権を取得した、オーストラリア生まれのコンプレッションウェアブランド『スキンス』について、同年8月より韓国で販売を開始しました。

『スキンス』は、6年の歳月を費やして開発した、運動中の筋肉に最適・正確な圧力を与える「動的段階的着圧」が特長です。世界約30カ国で販売され、アスリートのほか、健康という観点でも多くの人々から圧倒的な支持を得ています。韓国に続き、2013年春夏シーズンより日本・香港で販売を開始します。また、今後における『スキンス』ブランドのコンプレッションウェア以外のカテゴリーの製造・販売についても検討しています。



特集

Special Feature

国内4工場の特長と役割



デサントアパレル株式会社
代表取締役社長

瀬川 哲司 (せがわ てつじ)

製造拠点の海外移転が始まって久しいですが、今でも国内での製造を続ける、デサントアパレル(株)の4工場。国内生産にこだわるポイントはどこにあるのでしょうか？ 各工場の特長や生産体制などを、同社社長の瀬川がご説明します。

歴史と技術力が詰まった国内4工場

4工場は、どれも40年前後の長い歴史を誇ります。それぞれの特長を順に示します。

・**水沢工場(岩手)**: 縫製だけでなく、型紙製作を行う部署も持つ工場で、スキーウェア・「水沢ダウン」などの高機能製品や、消防防火服・骑手用保護ベストといった特殊用途製品まで生産を行っています。

・**吉野工場(奈良)**: 水沢工場と同様に型紙製作の部署を持ち、水着やランニングウェアを中心とした生産を行っています。

・**村岡工場(兵庫)**: 野球関連製品や競技用ウェアを生産する村岡工場は、オペレーターが立って縫い、次のミシンへ移る「一枚流し立ちミシン」を導入した工場、縫製機械の自動化が進んでいます。

・**西都工場(宮崎)**: 村岡工場と同様に、「一枚流し立ちミシン」で競技用ウェア・水着を中心に生産し、独自の圧着技術による競泳用水着「アクアフォース インフィニティー」などの製品開発も行っています。



水沢 MIZUSAWA DOWN

生産調整への対応と細心の品質管理



村岡工場・西部工場にある「一枚流し立ちミシン」。右手前→奥→左手前と、逆U字ラインで縫っていく(西部工場)

国内工場は、高機能かつ高い技術が求められる製品を生産できること以外にも、生産能力や納期を調整できるのが強みです。チーム向けスポーツウェアの短納期(2週間で製品をお届けする)への対応については、QR(クイックレスポンス)生産体制を組んでいます。QR品、別注品、通常

品など、それぞれの受注状況によって日々、生産ラインの人員調整を行い、すばやく生産能力を振り分けられるのは、国内工場ならではの機能といえるでしょう。

また、生産の現場では当然ですが、何よりも「安全」であることが重要です。各工場では、より着やすく動きやすい製品作りを追求していますが、異物混入の対策にも細心の注意を払っています。例えば、ミシンの針が細かく折れた場合など、破片を磁石で集めて元の形に復元できるまで、周辺のミシンを止めて探し出します。

安定した生産体制の構築と技術の継承にも注力

当社の生産の多くを担う海外生産においては、北京迪桑特有限公司(北京デサント)や協力工場に生産を委託しています。当社の安定した生産体制を維持・発展させるためにも、海外工場への技術指導や生産体制の整備なども、国内工場の重要な役割と認識して取り組んでいます。



着用する選手やお客様の立場でウェア(水着)を作る(吉野工場)

国内の4工場は、デサントグループの製造拠点の中枢を担ってきました。高度な技術や技能を未来に継承していくため、人材採用・教育を強化しています。これからも、メーカーである「デサント」を製造現場から支え、さらに高品質・高機能な「ものづくり」を目指します。

ブランド紹介

Our Brands

ブランド紹介 第5回 ルコックスポルティフ

デサントが展開するブランドを取り上げ、様々なエピソードや最新トピックスをご紹介します。第5回は、フランス最古の総合スポーツブランド『ルコックスポルティフ』です。

ブランド基礎情報

1882年、エミール・カミュゼにより、フランス・パリ近郊のロミリー・シュール・セヌに誕生。競技用ランニングシャツを主力としたメリヤス衣料製造業から始まった。

日本展開の開始:	アスレチック:1980年、ゴルフ:1995年、 メディカルウェア:2004年
展開カテゴリー:	フットボール、サイクリング、トレーニング、 ライフスタイル、ゴルフ、メディカルウェア
コンセプト:	フランスで生まれ育ったファッション性と洗練されたデザインで、時代に先駆け、新しい魅力を創造するブランド

ツール・ド・フランスの公式サプライヤー

高品質なカミュゼ社のウェアは評判を呼び、品質の高さの証しとして、1948年にフランスの国鳥「鶏」をシンボルマークに採用。2年後には、有名な三角形のロゴの原形が登場しています。



1950年のロゴ。朝日の上に右向きの鶏を配置



ツール・ド・フランスの
初開催は1903年

トリコロールは、ブランド誕生時から続くデザインモチーフ





1951年、世界最高峰の自転車ロードレースであるツール・ド・フランスで優勝者が着るリーダージャージの提供を始め、その後、約40年間にわたり公式サプライヤーを担当しました。1980年代に入ると、「鶏」のロゴが付いたユニフォームは、世界中のトップアスリートたちの厚い信頼を受け、オリンピック・サッカーワールドカップ・テニス4大会など様々なシーンを賑わせました。ブランド生誕130周年を迎えた2012年には、再びツール・ド・フランスのサプライヤーとなり、リーダージャージの製作を行っています。

様々なスポーツやメディカル分野へ革新的アイテムを提供

日本では、1980年より展開を開始し、サッカー・テニス・サイクリングなどのアスリートに向けた競技ウェアを販売。サッカー競技では、Jリーグ発足以来、名古屋グランパスエイト(現・名古屋グランパス)へウェアをサプライしています。また、フランスらしいデザインや色使いのライフスタイルウェアなど、幅広いカテゴリー展開を行っています。

1995年にはゴルフコレクションも登場し、2007年より横峯さくらプロを起用したプロモーションを行い、ブランド認知度の向上に努めています。一方、ハードな動きが多い看護業務をサポートするため、スポーツウェアの開発技術を活用したナースウェア・シューズを2004年に発表。ブランドの高い知名度も相まって、好評を得ています。『ルコックスポルティフ』は、伝統と斬新さを融合させ、高いファッション性と洗練されたデザインで、これからも革新的なアイテムを生み出すブランドであり続けます。



横峯 さくらプロ

財務情報

Financial Statements

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2012年9月30日)
資産の部		
流動資産	51,536	50,297
固定資産	17,432	17,968
有形固定資産	10,291	10,887
無形固定資産	578	1,189
投資その他の資産	6,562	5,891
資産合計	68,969	68,265
負債の部		
流動負債	20,989	19,386
固定負債	4,078	4,035
負債合計	25,067	23,422
純資産の部		
株主資本	45,988	46,985
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	17,617	18,616
自己株式	△659	△660
その他の包括利益累計額	△2,087	△2,142
その他有価証券評価差額金	△171	△405
繰延ヘッジ損益	△15	△13
為替換算調整勘定	△ 1,900	△1,724
純資産合計	43,901	44,843
負債純資産合計	68,969	68,265

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結 累計期間 (自 2011年4月 1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結 累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日)
売上高	39,940	43,320
売上原価	20,276	21,337
売上総利益	19,664	21,983
返品調整引当金戻入額	3	—
返品調整引当金繰入額	—	27
差引売上総利益	19,667	21,955
販売費及び一般管理費	17,441	19,486
営業利益	2,226	2,469
営業外収益	154	196
営業外費用	111	111
経常利益	2,268	2,554
特別利益	—	117
特別損失	—	239
税金等調整前四半期純利益	2,268	2,432
法人税、住民税及び事業税	816	809
法人税等調整額	△6	21
少数株主損益調整前四半期純利益	1,458	1,601
四半期純利益	1,458	1,601

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

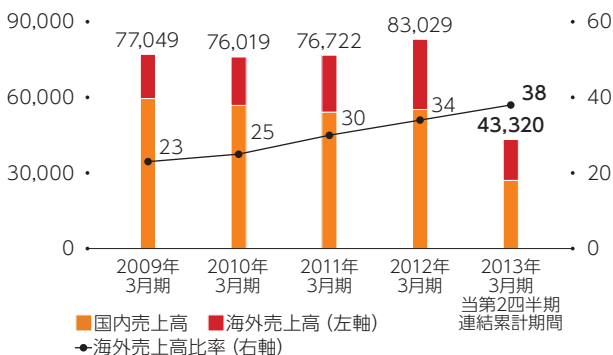
科目	前第2四半期連結 累計期間 (自 2011年4月 1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結 累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,149	△1,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△685	△1,429
財務活動によるキャッシュ・フロー	△584	△664
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△94	△3,302
現金及び現金同等物の期首残高	17,975	18,057
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,880	14,755

財務情報

Financial Statements

売上高推移および海外売上高比率

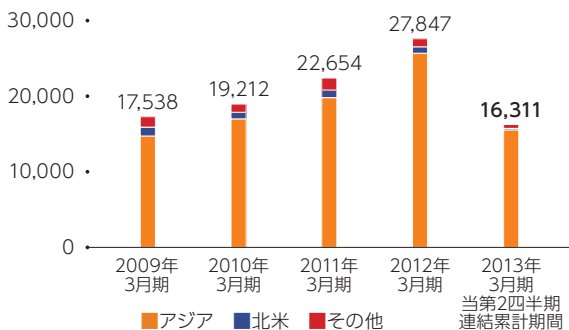
(単位：百万円/%)



注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

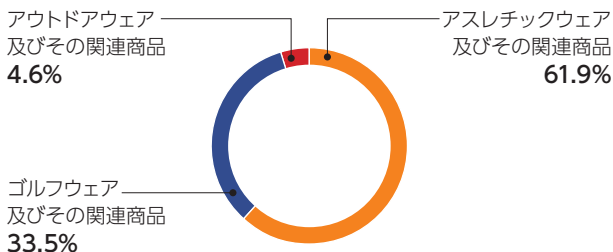
海外売上高推移

(単位：百万円)



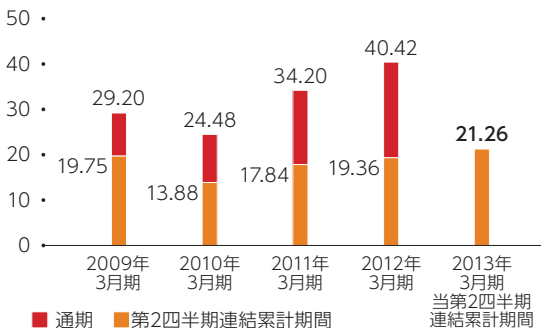
品目別売上高構成比 (当第2四半期連結累計期間)

(単位：%)



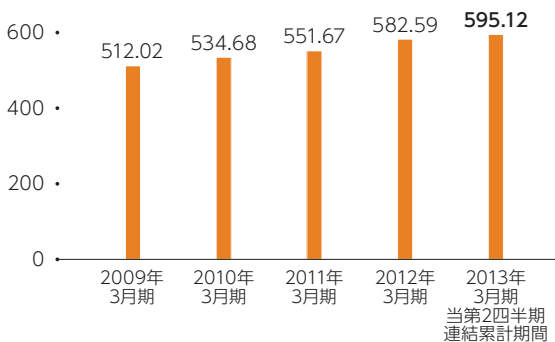
1株当たり四半期(当期)純利益

(単位：円)



1株当たり純資産

(単位：円)



会社情報／株式情報

Corporate Information / Stock Information

会社概要

株式会社デサント

設立	1958年（昭和33年）2月
代表取締役社長	中西 悦朗
資本金	38億4,620万円
年商	830億円（連結、2012年3月期）
従業員数	1,594名（連結） 755名（単体）（2012年9月30日現在）
業種	スポーツウェア及びこれらに関連するものの製造及び販売
大阪オフィス	大阪市天王寺区堂ヶ芝1-11-3 〒543-8921 TEL. (06) 6774-0365（人事・総務室） FAX. (06) 6774-0367（人事・総務室）
東京オフィス	東京都豊島区目白1-4-8 〒171-8580 TEL. (03) 5979-6006（東京総務・管理室） FAX. (03) 5979-6107（東京総務・管理室）

役員

代表取締役社長：	中西 悦朗	取締役：	戸井田 朋之
常務取締役：	田中 嘉一	取締役：	諸藤 雅浩
常務取締役：	石本 雅敏	常勤監査役：	石本 和之
常務取締役：	三井 久	監査役：	八杉 昌利
取締役：	羽田 仁	監査役：	檜垣 誠次
取締役：	辻本 謙一		

グループ会社

連結子会社

デサントアパレル株式会社（大阪市）
スポーツウェア及びこれらに関連するものの製造

ベンゼネラル株式会社（東大阪市）
スポーツ用品の卸売販売

デサントノースアメリカ INC.（カナダ バンクーバー）
スポーツウェア及びこれらに関連するものの販売

北京迪桑特有限公司（中国 北京）
スポーツウェア及びこれらに関連するものの製造

デサントコリア株式会社（韓国 ソウル）
スポーツウェア及びこれらに関連するものの製造及び販売

上海迪桑特商業有限公司（中国 上海）
スポーツウェア及びこれらに関連するものの販売

香港迪桑特貿易有限公司（中国 香港）
スポーツウェア及びこれらに関連するものの販売

シンガポールデサント株式会社（シンガポール）
スポーツウェア及びこれらに関連するものの販売

持分法適用関連会社

寧波ルコック服飾有限公司（中国 寧波）
スポーツウェア及びこれらに関連するものの製造及び販売

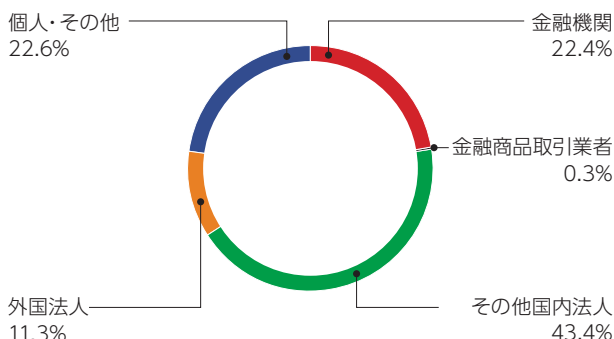
株式数および株主数

(2012年9月30日現在)

発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式の総数	76,924,176株 (自己株式1,572,162株含む)
株主数	4,446名

株式分布状況

(2012年9月30日現在)



大株主および持株数

(千株) (2012年9月30日現在)

株主名	持株数
伊藤忠商事株式会社	19,235
日本生命保険相互会社	4,047
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,473
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカUNT	2,233
株式会社三井住友銀行	2,110
デサント共栄会	1,911
石本和之	1,757
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,662
東洋紡ススペシャルティズトレーディング株式会社	1,587
ジェーピーエムシービー オムニバス ユーエス ペンション トリーティー ジャスデック 380052	1,555

上記のほか当社保有の自己株式1,572千株があります。

株主メモ

Shareholder's Memo

株主メモ

(2012年9月30日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日です
定時株主総会開催時期	毎年6月
公告の方法	電子公告により行います (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は日本経済新聞に公告致します。) 電子公告URL: http://www.descente.co.jp/irs/
単元株式数	1,000株
証券コード	8114
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777 (通話料無料)

株式手続に関するお問い合わせ先

ご住所、ご氏名の変更、配当金受取方法の変更等の各種手続

口座開設先の証券会社までお問い合わせください。

特別口座※で株式を管理されている株主様の手続

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 までお問い合わせください。

0120-094-777 (通話料無料)

※株券電子化前に証券保管振替機構をご利用されなかった株主様の株式については、特別口座で管理されております。特別口座で管理されている株式を売却するには、あらかじめ証券会社に株主の皆様の取引口座を開設し、株式の残高をお振替いただく必要があります。

DESCENTE



コーポレートシンボルマークの由来

DESCENTEとは、フランス語で「滑降」の意味。スピリットマークは、スキーの基本技術である直滑降、斜滑降、横滑りを表現しています。つねに最もすぐれたものに目を向け、時代の要求を先取りし、積極的に製品化していく果敢なデサントスピリットのシンボルです。

<http://www.descente.co.jp>



Printed in Japan